

ギフコンバレー2025



令和7年12月8日（月）

若者の挑戦を支援するため、未来を担う高校生や大学生など約700人が審査員となったスタートアップコンペティション「ギフコンバレー2025」が12月8日、岐阜協立大学で開催されました。本校からは5名の生徒が審査員として出席しました。



若者たちは「共感・ワクワク・応援したい」を基準に投票し、1位にはカブトムシを活用して有機肥料の原料などを生産する起業家が選ばれました。また、U18 & Teachers部門では県内の高校6校の生徒と教職員による各校の挑戦したい取り組みの発表も行われました。